

「半世紀ぶりの日本支援」

～ユニセフ・東日本大震災報告写真展 in 岩手～



▲6月11日 東京・ユニセフハウスを皮切りに全国で写真展を開催

2011年7月31日(日) 花巻市 なはんプラザ

8月1日 (月)～4日(木)花巻市 妙円寺

8月5日 (金)～7日(日)盛岡市 アイーナ4F県民プラザ

(いずれの会場も10時～16時)

ユニセフ、半世紀ぶりの日本への支援～「Build Back Better」

3月11日14時46分、M9.0、震度7、記録史上初めての巨大地震、この度の大震災で被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

この大震災に対し、ユニセフは日本支援を表明しました。日本の子どもたちへの支援は、第2次世界大戦直後の昭和24年から昭和39年まで15年間続いた「粉ミルク(脱脂粉乳)」などの支援や、昭和34年の伊勢湾台風被災者への支援以来となります。

緊急物資は、岩手県生協連・いわて生協・岩手県学校生協の協力のもと、子ども用肌着・靴・長靴・学用品など現地に届けられました。また協力団体・企業のみなさまのご支援をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。

「Build Back Better」(被災前よりも良い状態を実現する)とは、ユニセフが支援活動を始めた当初から訴えていることです。具体化のため、国内の専門家団体とも協力し、「子育てしやすいコミュニティづくり」の働きかけをはじめています。

ユニセフだからできること、やるべきことを、可能な限り、被災者の方々、特に子どもたちに寄り添った支援を続けてまいります。みなさまのあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

岩手県ユニセフ協会(旧・日本ユニセフ協会岩手県支部)

〒020-0180 岩手郡滝沢村土沢 220-3 いわて生協本部 2F 電話 019-687-4460 Fax019-687-4491